
地域特性及び公共交通の現状

－ 統計データ等にみる課題 －

目次

- I. 西条市の概況
- II. 公共交通の状況
- III. 人口推移、人口分布等
- IV. 中心市街地(空き店舗)の状況
- V. 観光入り込み客数の状況

I.西条市の概況

- 平成16年11月1日に西条市、東予市、丹原町、小松町が合併し、現在の西条市が誕生

【面積】 509.07km²

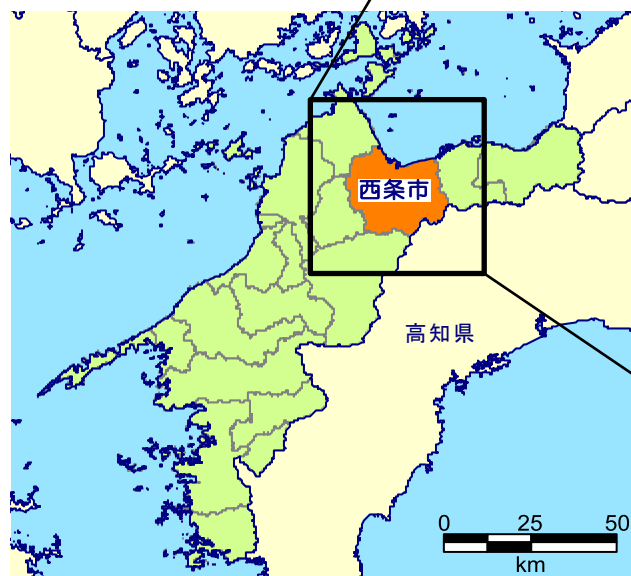
【可住地面積】 154.57km²

【人口】 112,091人

【世帯数】 44,630世帯

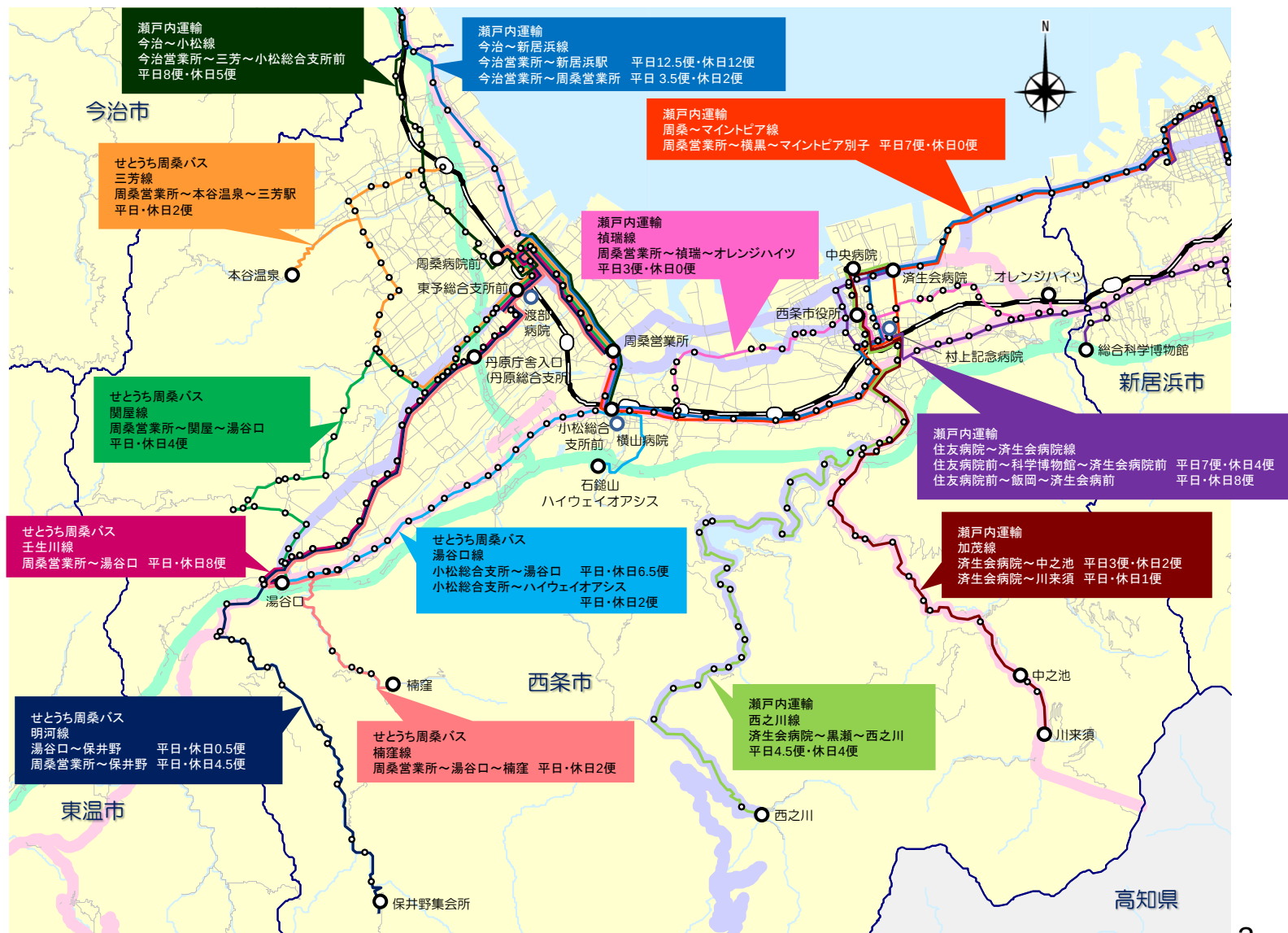
【老年人口比率】 26.9%

※H22国勢調査



II.公共交通の状況_路線バス

○瀬戸内運輸、せとうち周桑バスによって、市内各地を結ぶ路線バスが運行されている。



II.公共交通の状況_路線バス(バリアフリー対応状況)

○西条市内の路線バスを運行する事業者では、移動円滑化基準適合車両、ノンステップバスの導入が遅れている。

⇒高齢化が進む中、利用者のニーズを踏まえたバリアフリー化への対応が課題

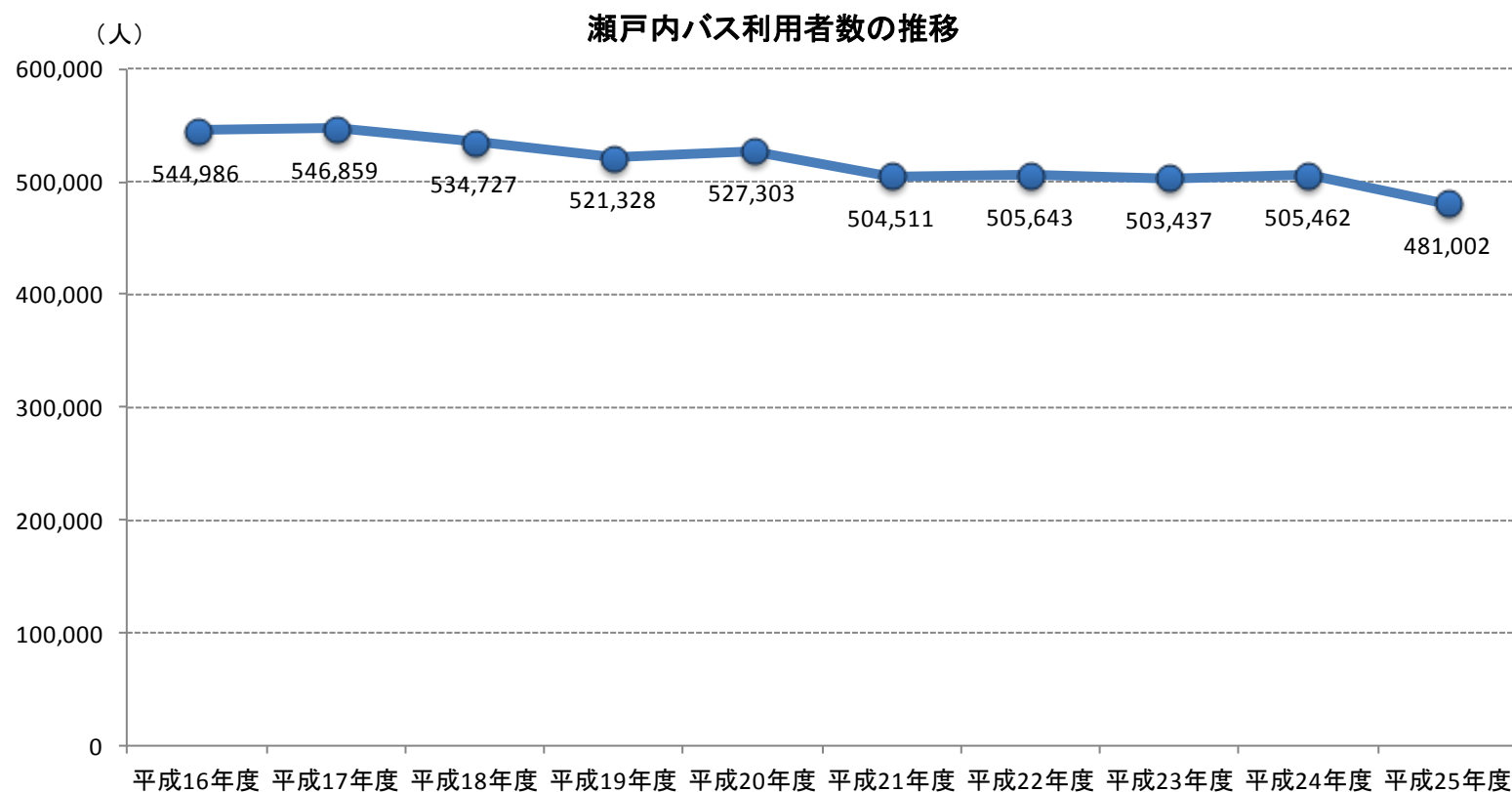
愛媛県内乗合バス事業者の基準適合車両導入状況(総車両数の降順で整理)

事業者名	総車両数 (台)	基準適合車両数(台)		導入比率(%)	
		合計	ノンステップ バス	適合車両	ノンステップ バス
伊予鉄道(株)	171	75	72	43.86	42.11
宇和島自動車(株)	113	43	25	38.05	22.12
瀬戸内運輸(株)	111	28	0	25.23	0.00
瀬戸内海交通(株)	31	12	0	38.71	0.00
ジェイアール四国バス(株)	31	3	0	9.68	0.00
伊予鉄南予バス(株)	28	6	6	21.43	21.43
(株)瀬戸内しまなみリーディング	8	0	0	0.00	0.00
肱南観光バス(株)	8	3	3	37.50	37.50
せとうち周桑バス(株)	7	0	0	0.00	0.00
いずみ観光(株)	4	0	0	0.00	0.00
中島汽船(株)	3	1	1	33.33	33.33
野村ツーリスト(有)	2	0	0	0.00	0.00
平成25年3月31日現在				県平均→	
				33.08	20.70

(資料)国土交通省

II.公共交通の状況_瀬戸内バス利用者数推移

- 瀬戸内バス利用者数は減少傾向で推移しており、平成16年と比較すると平成25年は約88%に留まっている。

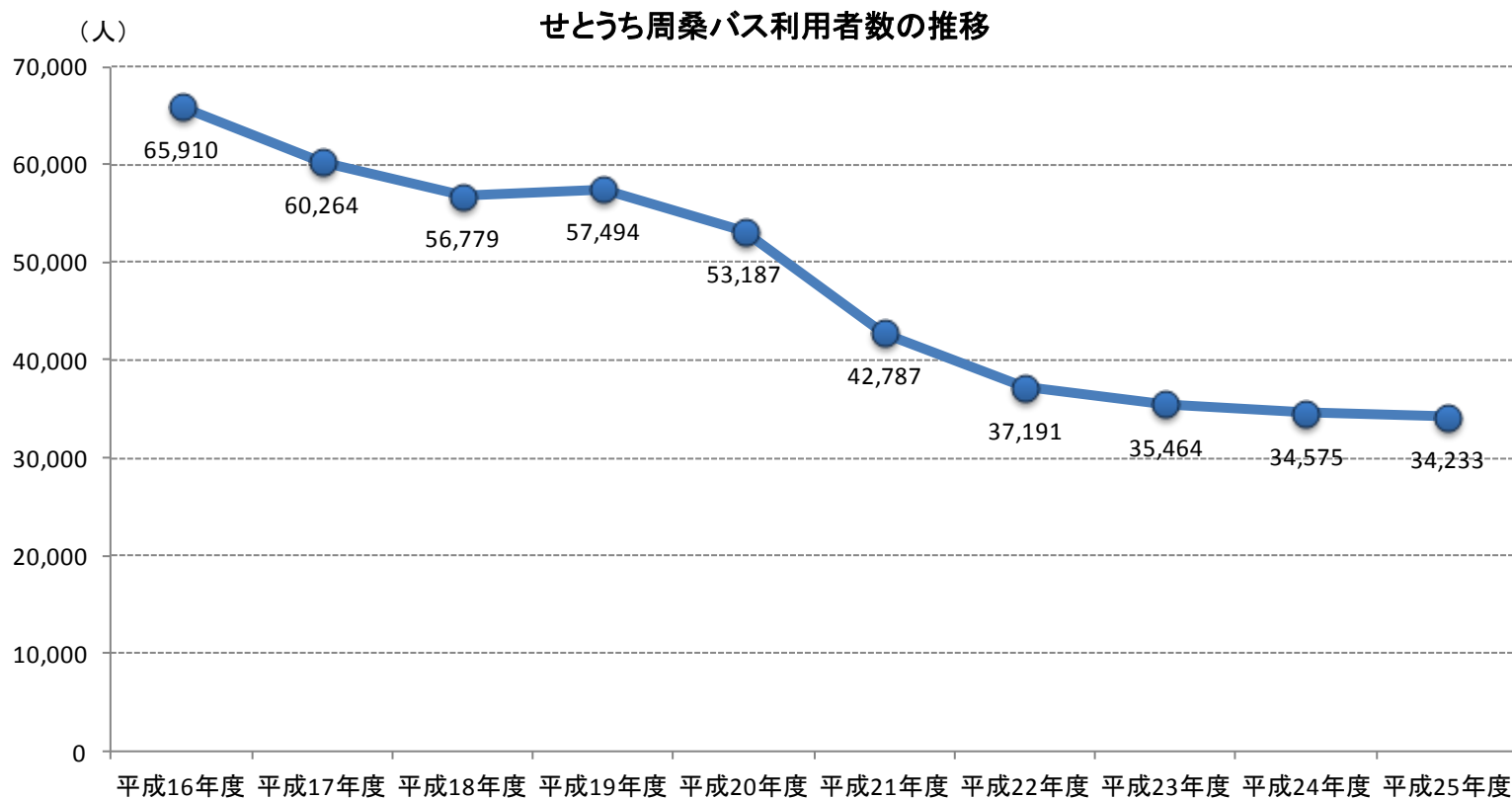


(資料)西条市「路線バス運行費補助金交付申請書添付資料」

※路線別の詳細利用状況は、【資料3】にて整理

II.公共交通の状況_せとうち周桑バス利用者数推移

- せとうち周桑バス利用者数は、大きく減少しており、平成16年と比較すると平成25年は約52%にまで減少している。



(資料)西条市「路線バス運行費補助金交付申請書添付資料」

※路線別の詳細利用状況は、【資料3】にて整理

II.公共交通の状況_鉄道(JR四国予讃線)

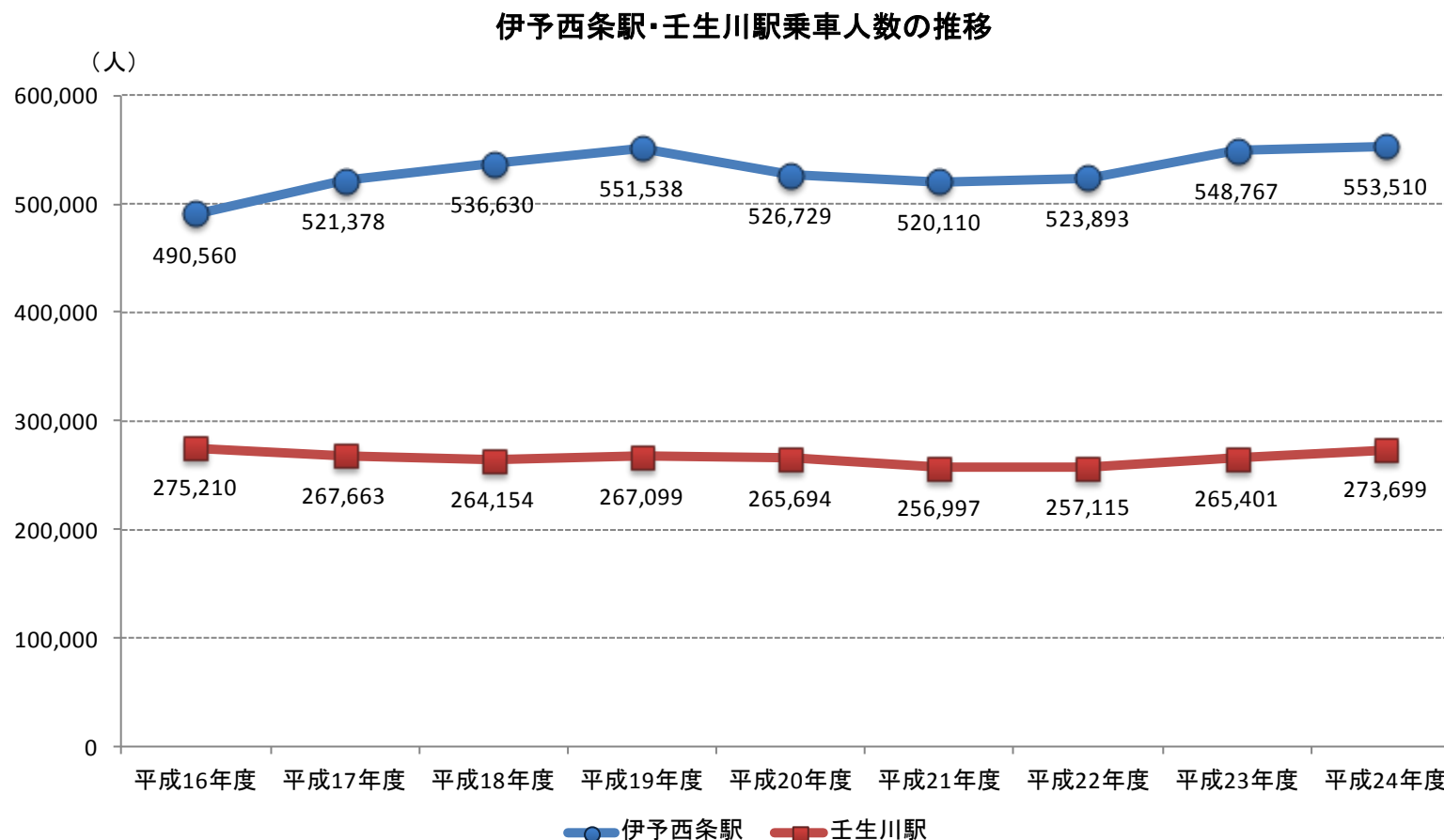
○市内にある駅は伊予三芳駅、壬生川駅、玉之江駅、伊予小松駅、伊予氷見駅、石鎚山駅、伊予西条駅の7駅

○特急の停車駅は伊予西条駅と壬生川駅



II.公共交通の状況_特急停車駅の乗車人数

- JR特急が停車する伊予西条駅・壬生川駅では、乗車人数はそれぞれ概ね横ばい～微増で推移している。



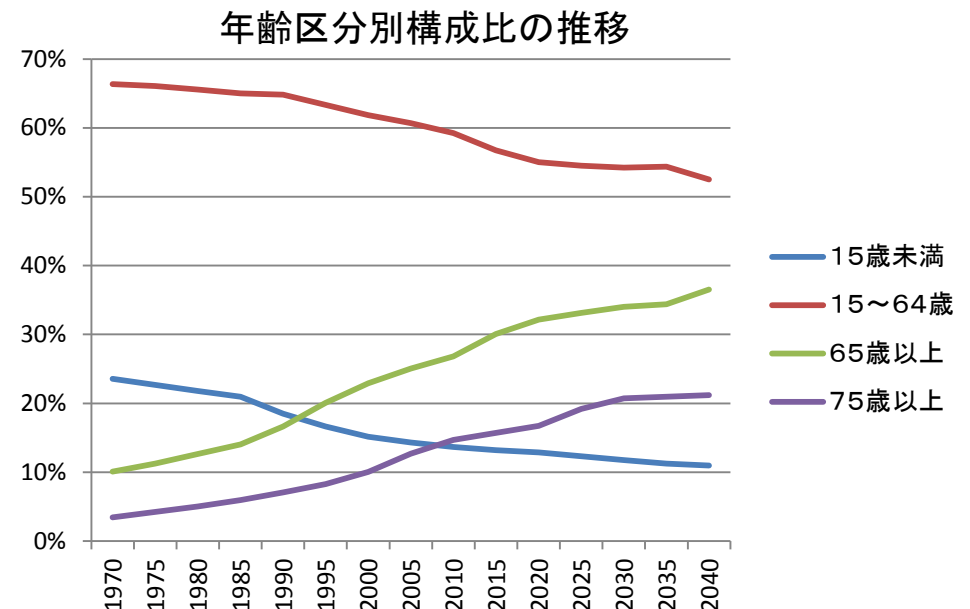
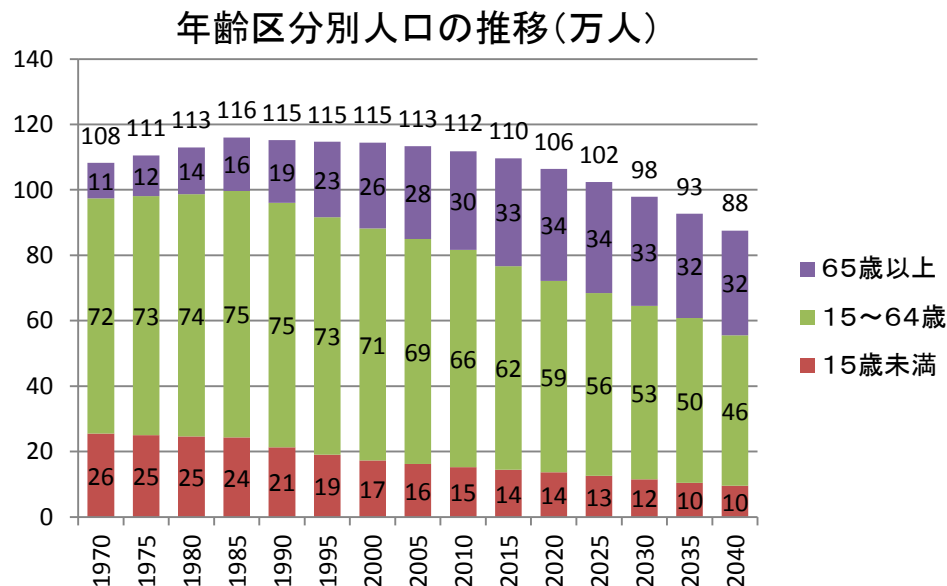
(資料)西条市「統計データ」

Ⅲ.人口推移、人口分布等

■ 総人口、人口構造の推移

- 人口は1985年をピークに減少傾向。年少人口は1970年から減少
- 老年人口(65歳以上)は1970年に比べ約3倍に増加。
- 将来は、総人口に占める65歳以上人口割合が2015年以降30%を超過、後期高齢者(75歳以上)人口割合も増加傾向が続くものと見込まれている。

⇒人口減少・高齢化を見据えた公共交通の再編(適正化)が課題

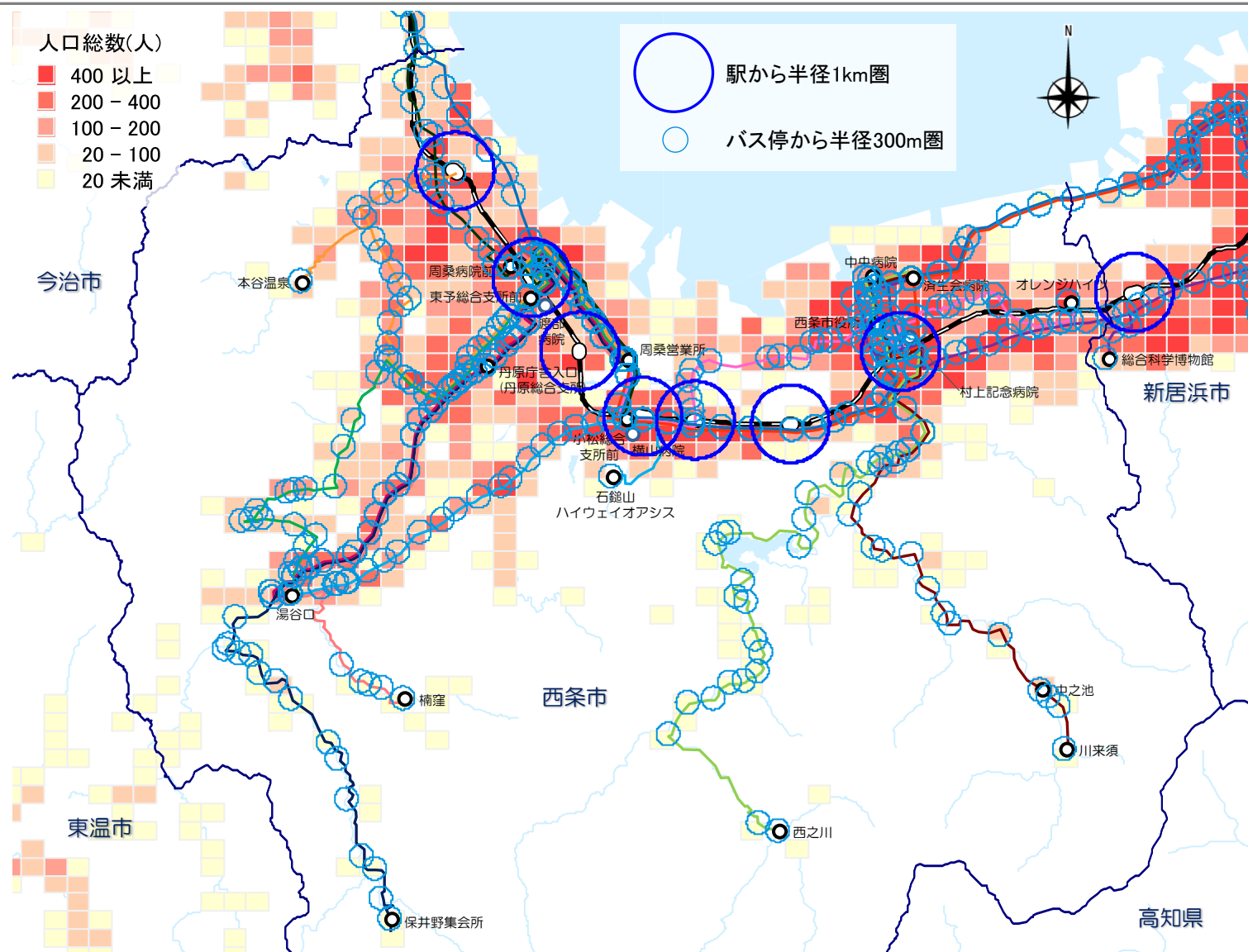


(資料)総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25(2013)年3月推計)」より作成

Ⅲ.人口推移、人口分布等_人口

- 鉄道および主要幹線道路周辺に人口が集積。
- 平地部において、公共交通空白地にも多くの住民が居住。

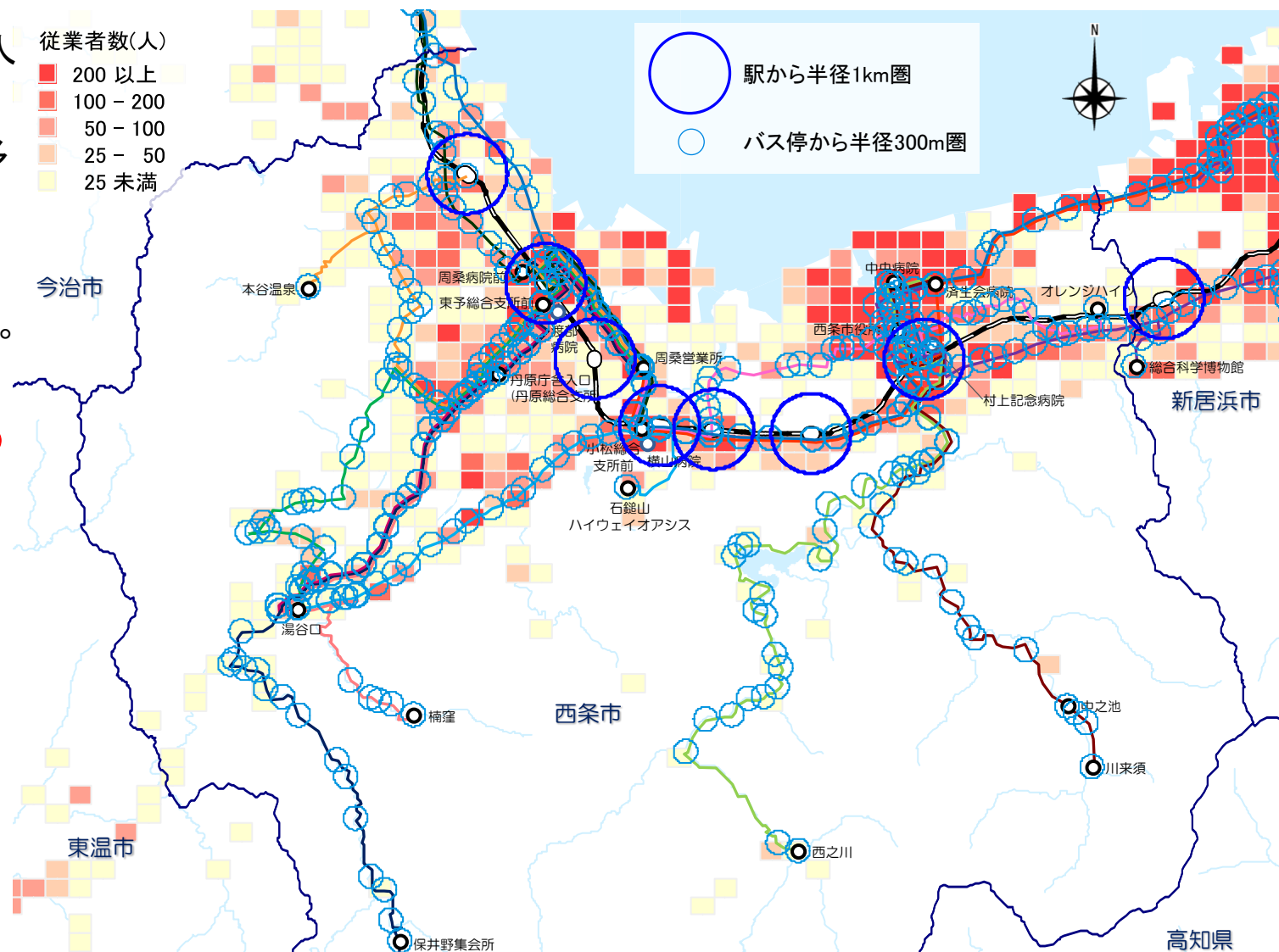
⇒交通空白地への対応
と事業採算性が課題



III.人口推移、人口分布等_従業者数

- 鉄道沿線その他、夜間人口が希薄な臨海部において、従業者数が多い。
- 臨海部では大規模工場が多く立地している。

⇒これらの地域における
交通需要を計画にどの
ように位置づけるかが
課題

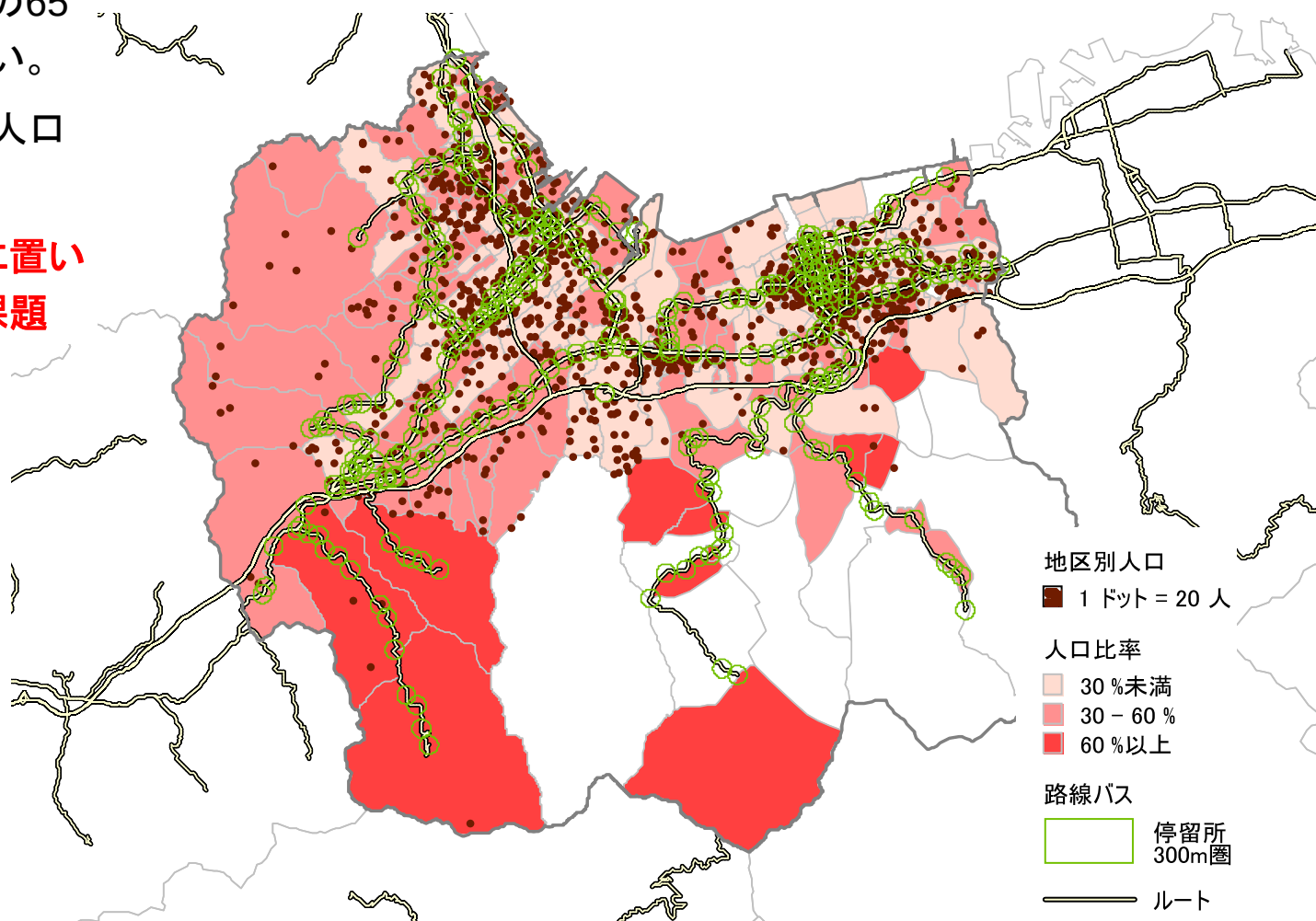


Ⅲ.人口推移、人口分布等

■ 平成22年人口:65歳以上_バス停留所300m圏の分布状況

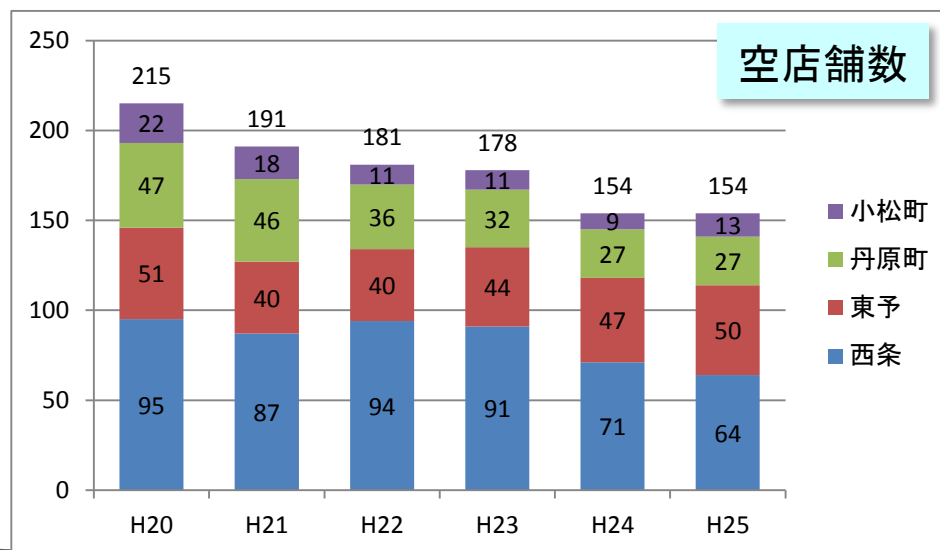
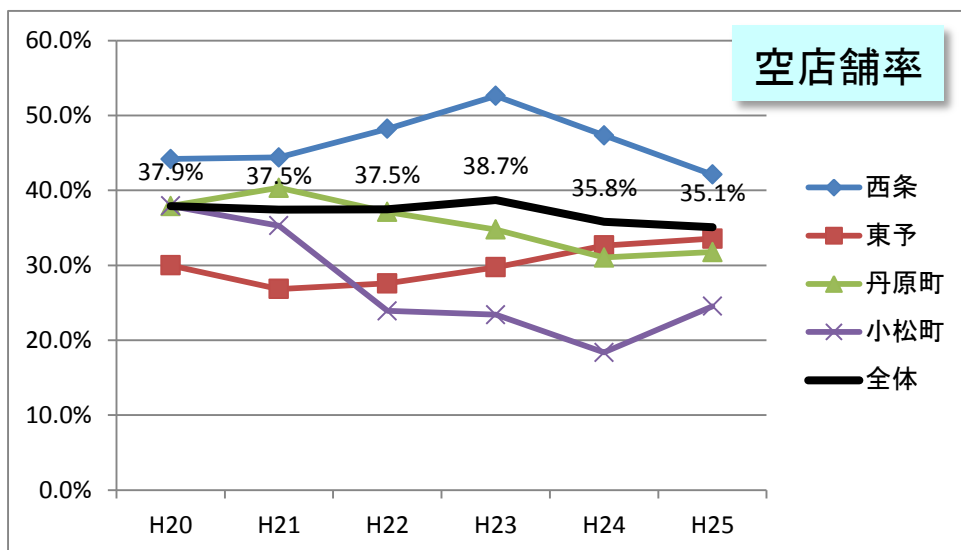
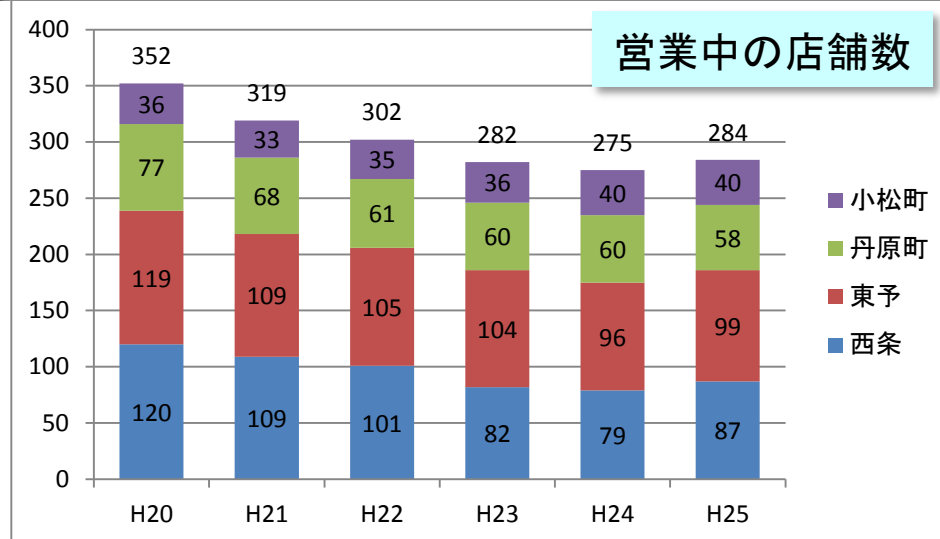
- 平地部に比べ山間部の65歳以上人口比率が高い。
- 平地部では65歳以上人口が多い。

⇒高齢者の移動を念頭に置いた公共交通の再編が課題



IV.中心市街地(空き店舗)の状況

- 商店街の営業中の店舗数は減少傾向が続いていたが、平成24年度から25年度にかけて増加に転じている。空き店舗数は減少が継続。
 - 空き店舗率は、西条市平均で平成23年度低下傾向であるが、地域によって傾向は異なる。
- ⇒中心市街地の活性化と併せた、公共交通のあり方(時間帯、頻度、運賃など)が課題。

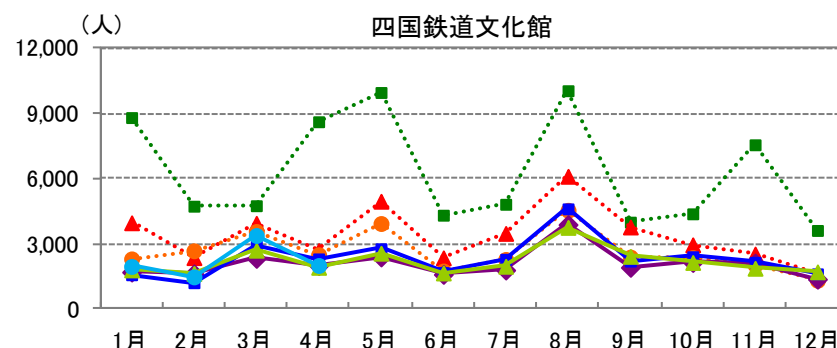
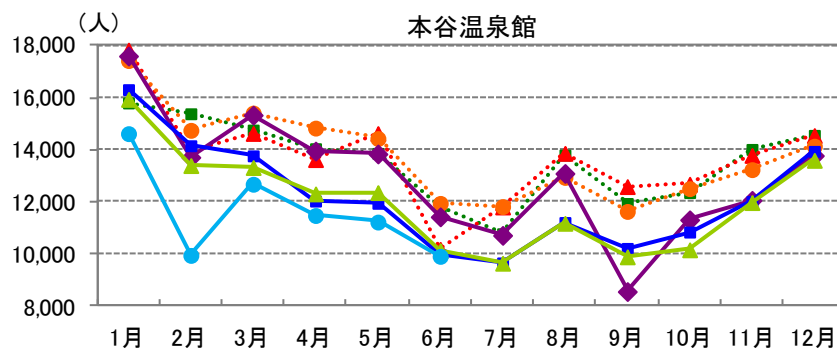
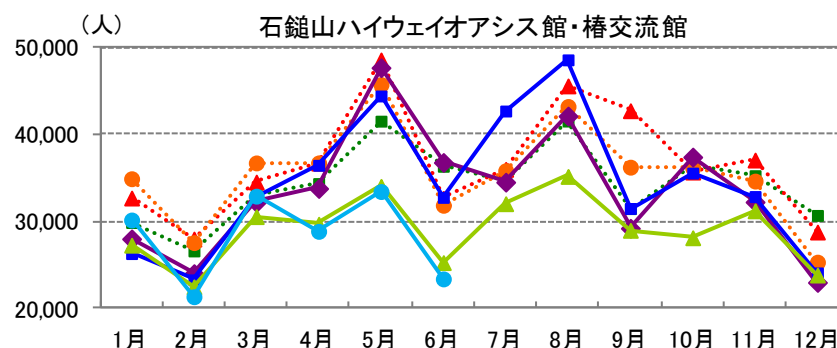
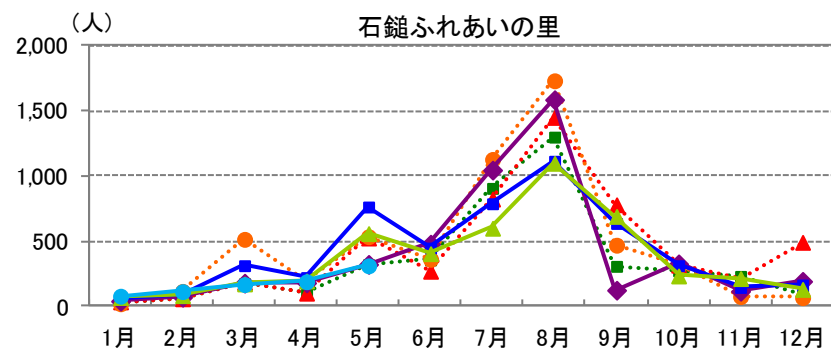


(資料) 西条市提供資料。空き店舗率＝空き店舗数÷(営業中の店舗数＋空き店舗数)

V.観光入り込み客数の状況_月次データ①

- 観光入り込み客数は、季節変動が大きく、また観光施設によってその変動状況は異なる。

⇒これらの需要変動を伴う観光施設を目的地とした移動に対し、公共交通によってどのレベルまで対応するかが課題

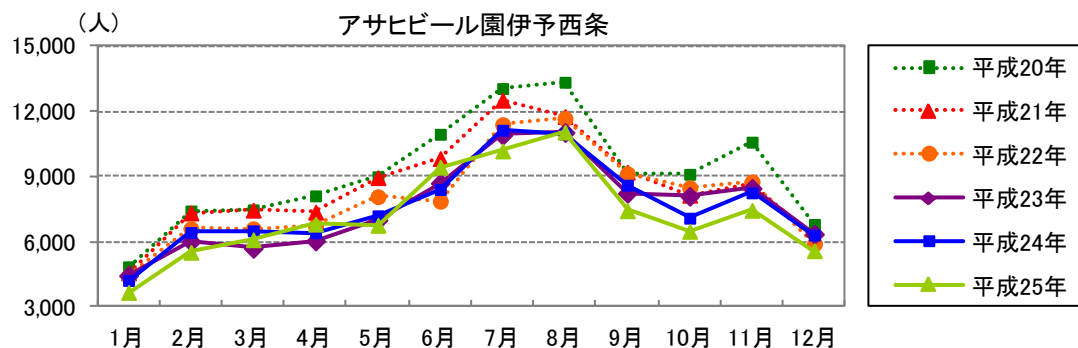
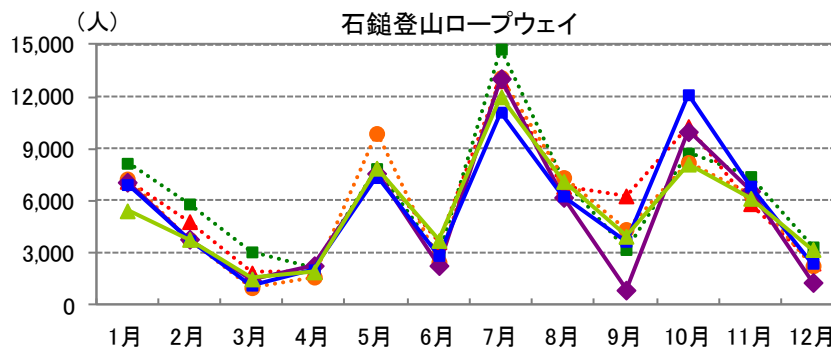
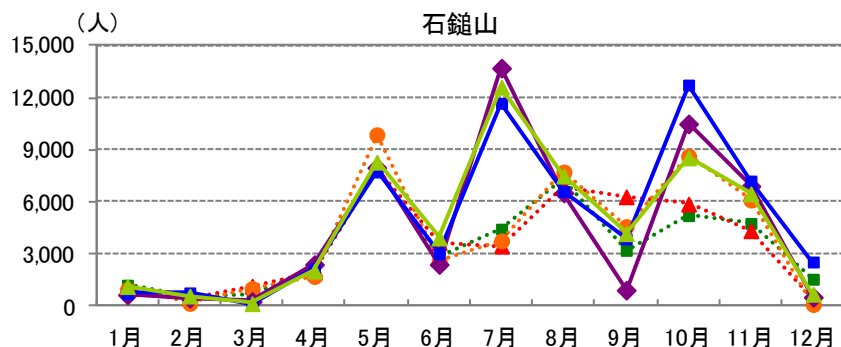


(資料)西条市提供資料より作成

V.観光入り込み客数の状況_月次データ②

- 観光入り込み客数は、季節変動が大きく、また観光施設によってその変動状況は異なる。

⇒これらの需要変動を伴う観光施設を目的地とした移動に対し、公共交通によってどのレベルまで対応するかが課題

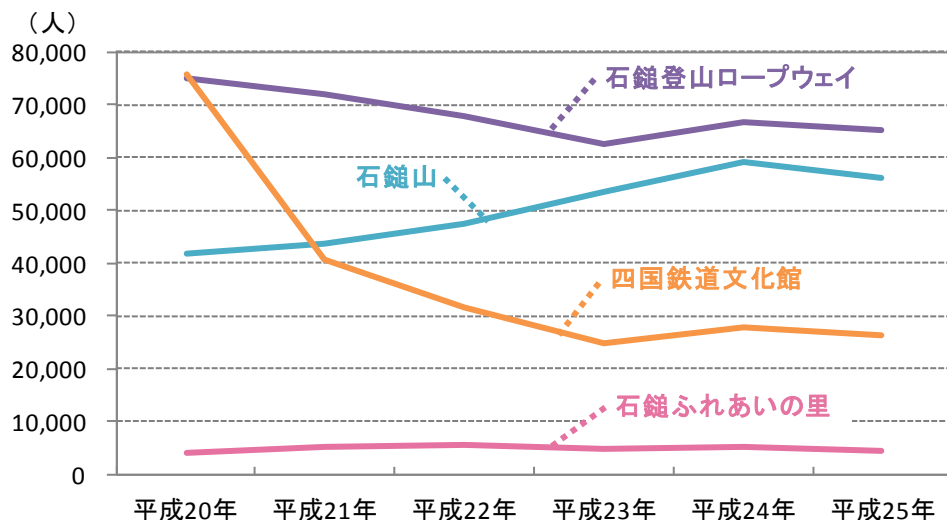
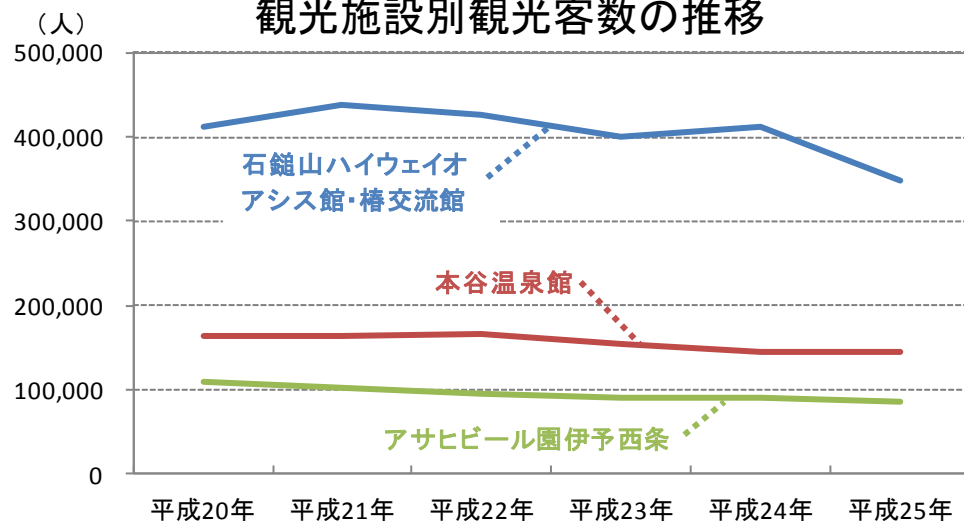


(資料)西条市提供資料より作成

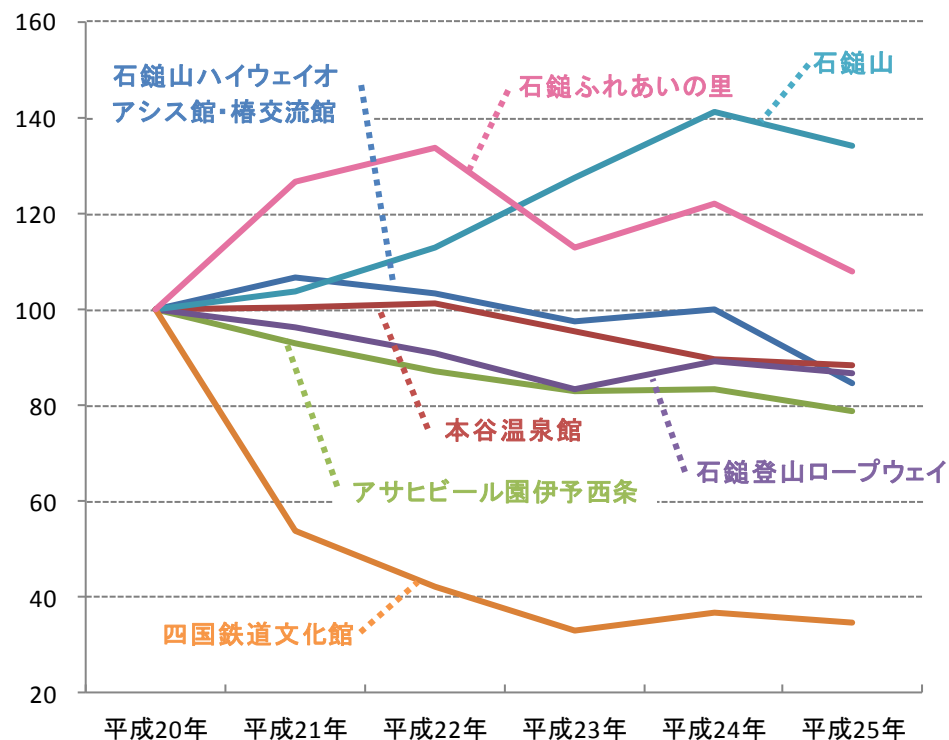
V.観光入り込み客数の状況_年次データ

- 西条市内の各観光施設における各年度の観光入り込み客数は、近年ではやや減少傾向で推移。

観光施設別観光客数の推移



観光施設別観光客数の推移(H20=100)



(資料)西条市提供資料より作成